



通常展「プリンス・トクガワ 松戸徳川家の調度品」について

明治25（1892）年、徳川昭武の跡継ぎ・武定が子爵になるにあたり、松戸徳川家が創られました。その後、本家である水戸徳川家から数々の美術工芸品や調度品が譲られます。松戸徳川家から当市に寄贈いただいた品々の中から、これまで公開する機会が少なかったものを中心に展示し、松戸に暮らした徳川昭武一家の生活を紹介します。

◆会期 令和2年2月1日（土）～6月21日（日）

※〈源氏物語図屏風〉の展示スケジュール:劣化防止のため展示替えを実施します。

令和2年2月 1日（土）～3月15日（日） 屏風（表面）1対で展示

令和2年3月17日（火）～5月10日（日） 屏風（右隻のみ）

令和2年5月12日（火）～6月21日（日） 屏風（左隻のみ）

◆会場 戸定歴史館展示室

◆費用 戸定歴史館入館料 一般150円（共通入館券一般は320円）

◆展覧会概要 ※展示品は例として挙げています。

➤ **第1章 時代と感性**

… 幼少期の素養と海外経験に関する品（書や記録類）の展示。幼少～青年期の経験が成人後の趣味や嗜好、戸定邸の構想に反映されている。

展示品：「大日本史」、徳川昭武書（軸装）、フランス革命史ノート 等

➤ **第2章 松戸徳川家の誕生**

… 授爵にあたって水戸徳川家から分家し、松戸徳川家が創設された経緯に触れるとともに、本家・水戸徳川家から移管された品物を主として展示。

展示品：〈源氏物語図屏風〉※今回の目玉資料、御讓品 等

➤ **第3章 大名華族の暮らし**

… 松戸徳川家ならではの伝来品、写真、食器等の生活感が伝わる品を展示。

展示品：〈黒漆鳳菱文手箱〉、〈銀製煙草入〉、九谷焼紅茶茶碗

➤ **エピローグ 松戸のお殿様—地域との繋がり**

… 海軍の辞令や戸定邸・敷地の「寄附申出書」を展示。徳川武定の略歴や地元・松戸との関わりを紹介。

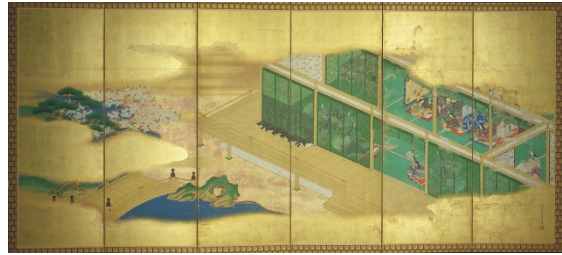
展示品：戸定焼手あぶり、武定所用杖（個人寄贈）、「寄附申出書」



◆展示品 抜粋



左隻： 胡蝶



右隻： 絵合

〈源氏物語図屏風〉 六曲一双



銀製煙草入

(元フランス皇后ウージェニーより昭武へ贈られた)



九谷焼紅茶茶碗



くろうるしおおとりひしもんてぼこ

黒漆鳳菱文手箱

(伏見宮博恭王妃經子遺品)

武定の妻・繡子に遺贈された



戸定焼手あぶり **※初公開**

(市内個人より寄贈)

【問い合わせ先】

生涯学習部戸定歴史館 ☎047-361-0056